



Subaru

男声合唱団 ニュース№703 '19. 8. 27

うたごえ喫茶 昂 第2回開催

8月25日



つぎつぎと会場を沸かせていました。

ロシア民謡「道」では、のど自慢の男性が前に出て、朗々と歌われ、我が団員もタジタジでした。

昂としては、合発曲の「日々草」と「朝露」の二曲を披露し、千秋団長も、「未来にかけて」を披露されました。

二回目のうたごえ喫茶が、8月25日（日）午後二時より、ねむかホールにて開催されました。

今回は、司会が大畠さんから立川さんにかわり、開催前から、立川さんは、来場者に声掛けをされたり、当初予定した曲以外に、手遊びの歌や歌唱指導をする歌等の準備をされていましたが、いったん会がはじまると、水を得た魚のように、会場の雰囲気を和ませ、



また、立川さんのちばりよーの仲間の鬼崎さんが、辺野古返還の運動の中から創られた「ハマサンゴの歌」等二曲を披露していただきました。



当日参加は、団員15名、指揮者1名、伴奏者1名、一般参加者30名（内男性9名）で、総数47名で、ねむかホールは、青春の歌であふれかえりました。

運営に関して少しの不手
際が見られましたが、今後の
課題として、要員の分担の明
確化や、参加呼びかけに関し
て、今回の参加者名簿や、コ
ンサートのアンケートに記
載されていた方々の名簿な
どを活用して、葉書で参加の
呼びかけをしながら、今後の
開催に向けたいと思います。

（更家）

